中学生少年の主張大会から

聴衆の心に響いた宮崎さんの発表（小合中にて）

家族の一人として

宮崎友希（一中3年）

今年度の新津市中学校少年の主張大会で市長賞を受けられた宮崎友希さん（一中）の発表文をご紹介します。

なお、宮崎さんは、三市中蒲原地区大会で最優秀賞、県大会で奨励賞を受賞されています。

「どうして、こんなことまでやらなくちゃだめなの？」

この言葉が私のくちぐせでした。そして、父を困らせてばかりいた言葉です。

我が家は、父と私と妹の三人家族です。母は、私が小学校四年生のときに病気で亡くなりました。家族の中で、とても重要な存在の母がいないということは、皆さんが考えている以上に大変なことなのです。毎日母がやっていた家の仕事を、家族みんなでこなしていかなければなりません。

「私にもちゃんとできるかなあ、だいじょうぶかなあ」

それまであまり手伝いをしていなかった私にとって大きな不安がありました。

最初は、夕食後の後片付けや米とぎなどの簡単な仕事からやっていました。自分なりに一生懸命やっていたつもりですが、思うようにできないと私はすぐにめんどうくさくなり、いやになってしまったのです。そんなとき、母のありがたさが改めて身にしみました。

中学生になっても仕事は減ることがありません。増えていくばかりです。それと同時に、私の不満も増していく一方でした。

「友達はこんなことなんてしてないのに、どうして私ばっかり」

一日中こんな気持ちで心がいっぱいになることもありました。私はこの思いを父に幾度となくぶつけたり、反発したりもしました。自分の気持ちだけを私は言っていたのです。ある日、そんな私に父は言いました。

「おまえばかりが、こんな仕事をしてるんじゃないんだぞ」

私は、その言葉をすぐに理解することができませんでした。自分の気持ちだけで頭がいっぱいで、周囲に目を向けることまでできなかったのです。

父の言葉が気にかかってしまい、しばらくしてからもう一度その言葉についてよく考え、あることに気がついたのです。「父も私も妹も、みんな同じ状況なんだ」ということです。

父は、お風呂そうじや部屋を片付けたり、私と妹のために早くから朝ご飯も作っています。普通の父親が、簡単に出来ることではない仕事です。父は弱音も吐かずに、ただただ働いていつも一生懸命です。私はすごいなあと思うと同時に、誇りに思います。仕事をしているときの姿が、なんだか力強く見え、私も頑張ろうという気持ちが出てくるのです。文句を言った自分がはずかしく思います。父が私に言ったあの言葉を分かりかけてきたせいか、今では少しずつ自分から仕事をするようになってきました。

今、私が毎日やっていることは、洗たく物干しと夕食後の後片付けです。簡単なことですが、毎日続けるというのは困難なものだと改めて実感しています。ときどき、まだ父に頼ってしまうこともあるけれど、自分の出来る範囲で、仕事をしっかりやろうと考えています。

母が亡くなってから五年が過ぎました。この五年間、母がいなくて困ったこと悩んだことがいろいろありました。そんなとき、家族三人、助け合う心を持って乗り切ってきました。時間を上手に使えるように、私と妹で協力をして家事の分担をするようになりました。これからも困難なことから逃げないで少しずつ乗り越えていかなければなりません。ですから、私も父に迷惑をかけないように、家族三人で仲良く協力しあいながら、頑張っていこうと思います。

お買物、ご用命は市内で

葬儀、祝、弔、花環
越松会会員募集中
入会金 3,000円のみで5年間保障

全館冷暖房完備
総合葬祭業
越後葬祭
新津市東町1丁目　☎(24)8330

秋山庄太郎氏撮影の花のカレンダーを配付します

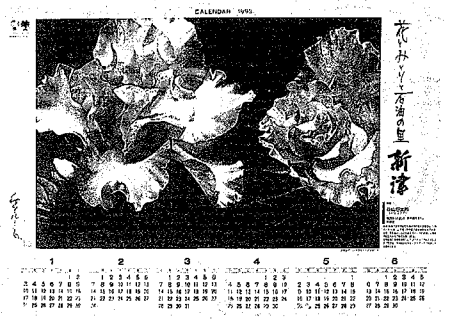
市では、昨年に引き続き写真家秋山庄太郎氏の協力により「花のポスターカレンダー」を作成しました。

このカレンダーは、新津市の特産品である「アザレア」を題材に秋山氏が撮影した写真をポスター化したもので、二万二千部を発行しました。

今年のカレンダーは、半年ずつの二枚からなり、大きさは昨年の半分（縦四十二センチメートル、横六十センチメートル）です。昨年に比べ、日付の文字も大きくなっています。上半期分を十二月十五日号広報といっしょに全世帯配布するほか（下半期は来年五月配布）、市外にも送付し、花の里のイメージアップを図ります。

秋山氏は、女性写真家として著名なほか、花の写真家としても日本の第一人者です。このカレンダーをきっかけに、写真誌で新津を紹介するなど、新津の花の理解者でもあります。今回の花のポスターは、秋山氏の巧みな情感表現が感じられます。ぜひ、ご利用ください。

花きセンターで撮影する秋山氏



カメラスケッチ

新津手話サークルの皆さん

新津手話サークルが県手話まつりで優秀賞

11月29日、新発田市で開かれた第16回県手話まつりで、新津手話サークルの劇「手話で見た新津」が優秀賞に選ばれました。

昨年の大会で最優秀賞を受賞した同サークルは、今回は、新津市の四季やみどころをスライドを交じえて紹介。ふるさとの素晴らしさを伝えようとする熱演に、観客から盛んな拍手を受けていました。

新栄学園の関根さんがゆうあいピックに出場

さきごろ、小戸下組の関根均さん（26歳）が、第1回全国精神薄弱者スポーツ大会の陸上100㍍競技に県代表として出場しました。

関根さんは、中学生時代に市内でベスト3になったことがあり、今回もこの大会に向け、毎朝トレーニングを行ってきました。結果は、普段の実力を出し切れず、惜しくも入賞は逃したものの、精一杯の力走を見せ敢闘賞を受賞しました。

メダルを手に笑顔の関根さん

左端が40万人目の西潟さん

石油の世界館が入館者40万人に

11月24日、石油の世界館の入館者数が40万人を突破しました。

幸運の40万人目になったのは、下田村から仕事仲間といっしょに来られた西潟新作さん（64歳）。記念品を手渡されビックリしながらも、「一度は来てみたかった」という石油の里での突然の出来事にとても嬉しそうでした。

また、前後賞の大野キヨノさん（76歳、聖篭町）と大桃幸蔵さん（69歳、三条市）にも記念品が贈られました。

お買物、ご用命は市内で

旧市役所前
靴のイザワ
靴なら何でも揃うイザワ
＊あるく楽しさをお届けする＊
TEL 22-0625

薬品を使わないジェット洗浄
トイレ・排水・下水管▶つまり直し・洗浄
外壁・プール・庭石▶清掃
パイプ小僧新津
・これで安心
・下水清掃のエキスパート
株式会社 土田浄化槽管理 ☎22-1738(代)